

第57回一般社団法人東京都建築士事務所協会第一ブロック協議会  
第一部講演会

20世紀の3巨人と現在

～フラー、プルーヴェ、イームズに学ぶ～

講師：松村 秀一氏

(神戸芸術工科大学学長／元日本建築学会副会長)

講演日：2026年8月25日(火)

時間：16:00～17:40(受付開始 15:30)

会場：ホテルメトロポリタンエドモント東京2階「万里」

【講演趣旨】

1895年アメリカに生まれ、「ダイマキシオン・ハウス」「フラー・ドーム」「宇宙船地球号」など、人々を驚かせ、そして多くの人に影響を与える様々な業績を残し、その紹介のされ方も思想家、発明家、建築システム考案者、詩人、或いは「20世紀のレオナルド・ダ・ヴィンチ」と、実に多方面にわたって称される巨人、バックミンスター・フラー。



1901年、世紀末のヨーロッパを席卷したアール・ヌーヴォーの聖地フランスのナンシーに生まれ、「クラフトマンシップと現代的な工業との融合」という革新的なテーマを引き継ぎ、自ら鍛冶職人として活動。他方で、20世紀の先端的な工業技術をものづくりの過程に果敢に取り込んでみせた、工業化時代の棟梁、ジャン・プルーヴェ。

1907年アメリカに生まれ、フィンランドから渡米してきたエリエル・サーリネンに建築を学び、画家のレイと結婚した後、市場に流通していた非住宅建築向けの工業化された建材・部品を転用して、誰も見たことがないような軽やかさを持つ自邸を、きわめて安価につくり上げてみせた。その後はデザインの世界に活動領域を広げ、20世紀を代表するデザイナーとなった、チャールズ・イームズ。



いわゆる近代建築家たちとは明らかに異なる、独自の軌跡を20世紀建築史に残したこの3人の巨人。あまりにも独創的な彼らの創作を振り返りながら、今なお色褪せることのない瑞々しい業績を、改めて見つめ直してみたいと思います。

(写真出典：Wikimedia Commons)

【講師プロフィール】



松村 秀一 (まつむら しゅういち)

専門分野：建築構法、建築生産

現職：

- ・神戸芸術工科大学 学長
- ・早稲田大学理工学術院 総合研究所 研究院客員教授
- ・元日本建築学会 副会長

略歴：

1957年 生まれ

1980年 東京大学工学部建築学科卒業

1985年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了(工学博士)

2006年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授

主な著書：

『建築-新しい仕事のかたち-』彰国社(2013年)

『ひらかれる建築-「民主化」の作法-』ちくま新書(2016年)

『建築の明日へ-モノも人も死なない世界のしくみ-』平凡社新書(2021年)

『これからの建築入門(自分でつくる)を取り戻せ』岩波ジュニア新書(2025年)

ほか多数

主催：一般社団法人東京都建築士事務所協会 第一ブロック

(中央支部、港支部、新宿支部、千代田支部 / 担当：千代田支部)